

- 調：2018年閣僚理事会の概要と意義（前・後編）」（一般財団法人・国際貿易投資研究所、2018年）<http://www.iti.or.jp/flash374.htm>, <http://www.iti.or.jp/flash377.htm>。
- 2 OECDのデジタル化に関する中間報告書「Going Digital in a Multilateral World: An interim report to Ministers」（2018年、<http://www.oecd.org/going-digital>）は、分野横断的に各種業績を総覧している。また、本稿で引用する図表を含め日本のデジタル化の現状は、OECDの対日政策提言集の最新版「Japan: Promoting Inclusive Growth For an Aging Society」（2018年、<http://www.oecd.org/about/secretary-general/BPS-Japan-EN-April-2018.pdf>）に略述されている。
 - 3 35か国とは、1961年設立時の原加盟20か国（英国、フランス、ドイツ、ベルギー、オランダ、ルクセンブルグ、オーストリア、デンマーク、ギリシャ、アイスランド、アイルランド、イタリア、ノルウェー、ポルトガル、スペイン、スウェーデン、スイス、トルコ、米国、カナダ）に加え、日本（64年）、フィンランド（69年）、豪（71年）、ニュージーランド（73年）、メキシコ（94年）、チェコ（95年）、ハンガリー、ポーランド、韓国（いずれも96年）、スロバキア（2000年）、チリ、スロベニア、イスラエル、エストニア（いずれも10年）及びラトビア（16年）である。2018年5月、リトアニア及びコロンビアが加盟承認された。なお、EUは、OECDの正式メンバーではないため、理事会での投票権を有さないが、議論に参加し、決議案の修正等を提案することが出来る。
 - 4 OECD「Science, Technology and Industry Micro-data Lab: Intellectual Property Database」（2018年）<http://dx.doi.org/10.1787/888933619030>
 - 5 OECD「Financing SMEs and Entrepreneurs 2018: An OECD Scoreboard」（2018年）http://dx.doi.org/10.1787/fin_sme_ent-2018-en
 - 6 拙稿「見えないものを視る力：OECDが牽引するデジタル税制」『ファイナンス』54巻3号（財務省、2018年）https://www.mof.go.jp/public_relations/finance/201806/201806j.pdf
 - 7 OECD「Science, Technology and Industry Scoreboard: The digital transformation」（2018年）<http://dx.doi.org/10.1787/888933616978>
 - 8 OECD「Science, Technology and Industry Micro-data Lab: Intellectual Property Database」（2017年）<http://dx.doi.org/10.1787/888933619030>
 - 9 OECD「International Collaboration Networks in Science Have Become More Oriented Towards Asia: Whole counts of internationally co-authored documents, 2006 and 2016（OECD calculations based on Scopus Custom Data, Elsevier, Version 1.）」（2018年）